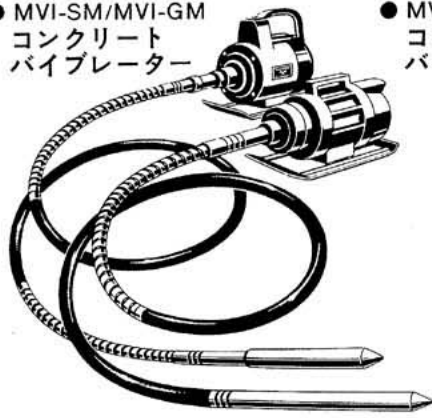
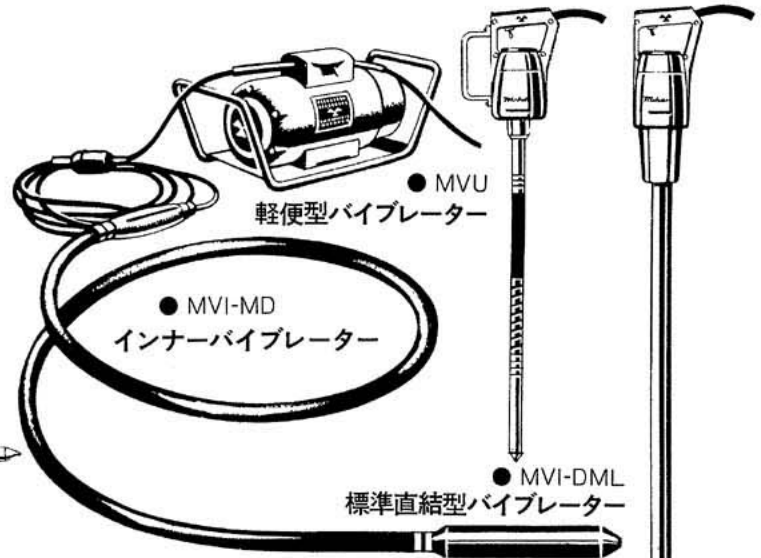
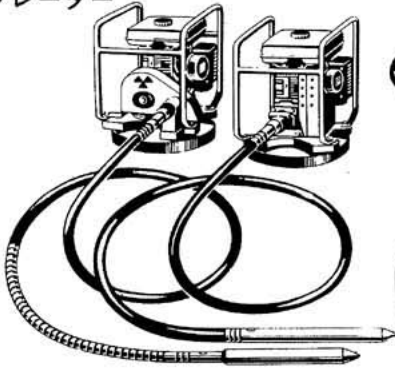


● MVI-SM/MVI-GM
コンクリート
バイブレーター



● MVI-CE/MVI-GE
コンクリート
バイブレーター



● MVU
軽便型バイブレーター

● MVI-MD
インナーバイブレーター

● MVI-DML
標準直結型バイブレーター

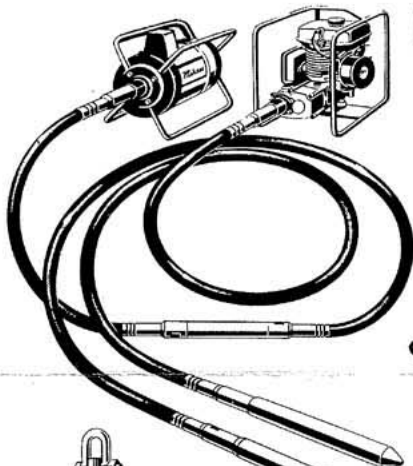
Mikasa

CONSTRUCTION EQUIPMENTS

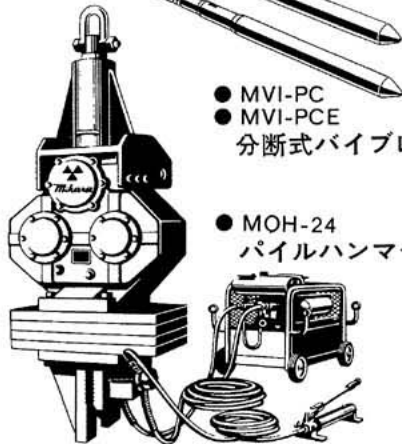
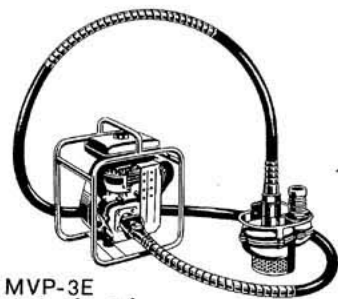
特殊建設機械メーカー

三笠産業

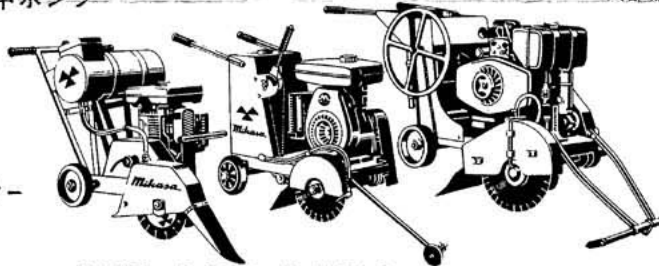
本社 東京都千代田区猿楽町1-4-3
電話 (03) 292-1411 大代表
札幌出張所 札幌市中央区大通西8-2 足田ビル
電話 (011) 251-2890・0913
仙台出張所 仙台市本町1-10-12 Sビル
電話 (022) 61-6361-3
工場 館林市/春日部市
西部総発売元 三笠建設機械株式会社
大阪市西区立売堀北通4-70
電話 06 (541) 9631 (代)



● MVP-3E
水中ポンプ



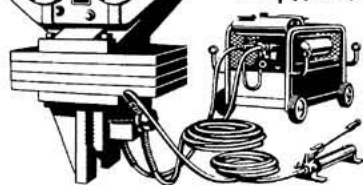
● MVI-PC
● MVI-PCE
分断式バイブレーター



● MCD-1U/MCD-2B/MCD-3
コンクリートカッター

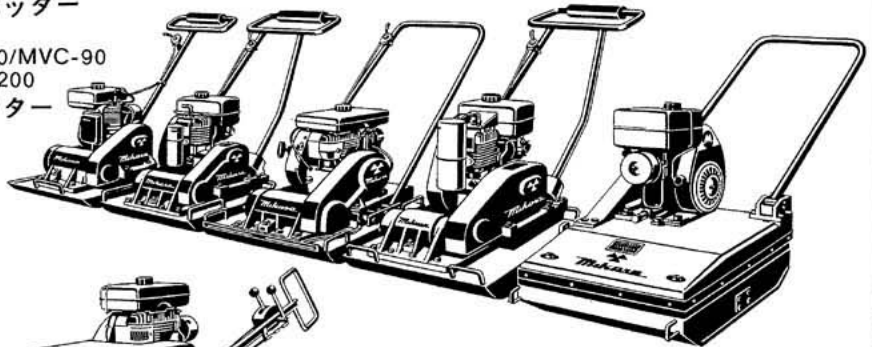


● MHC-8A
ハンドコンクリートカッター



● MOH-24
パイルハンマー

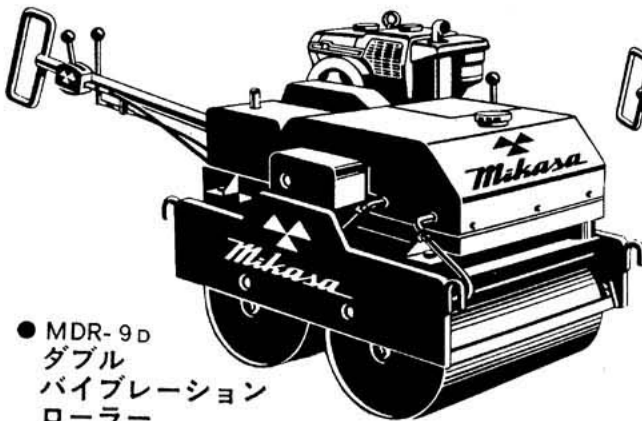
● MVC-52/MVC-70/MVC-90
● MVC-110/MVC-200
プレートコンパクター



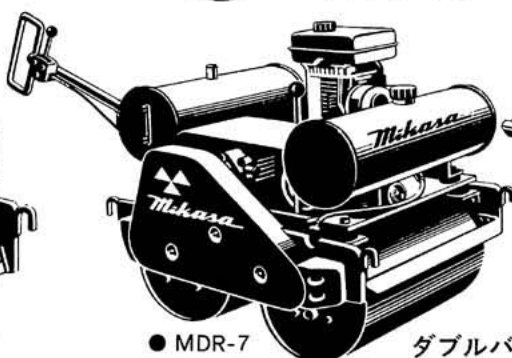
● MDR-S50
スロータンパー



● MDR-T38
トレンチローラー

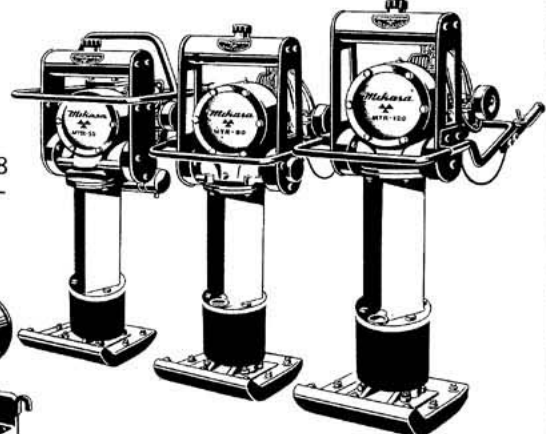


● MDR-9D
ダブル
バイブレーション
ローラー



● MDR-7

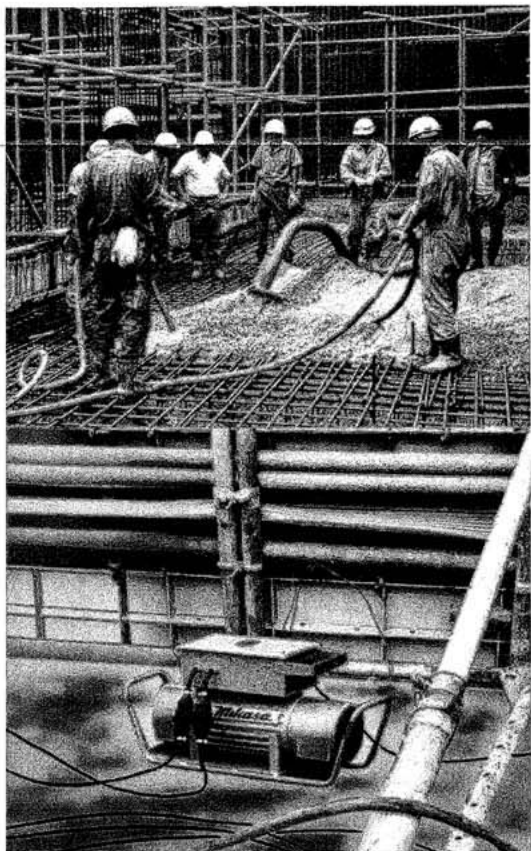
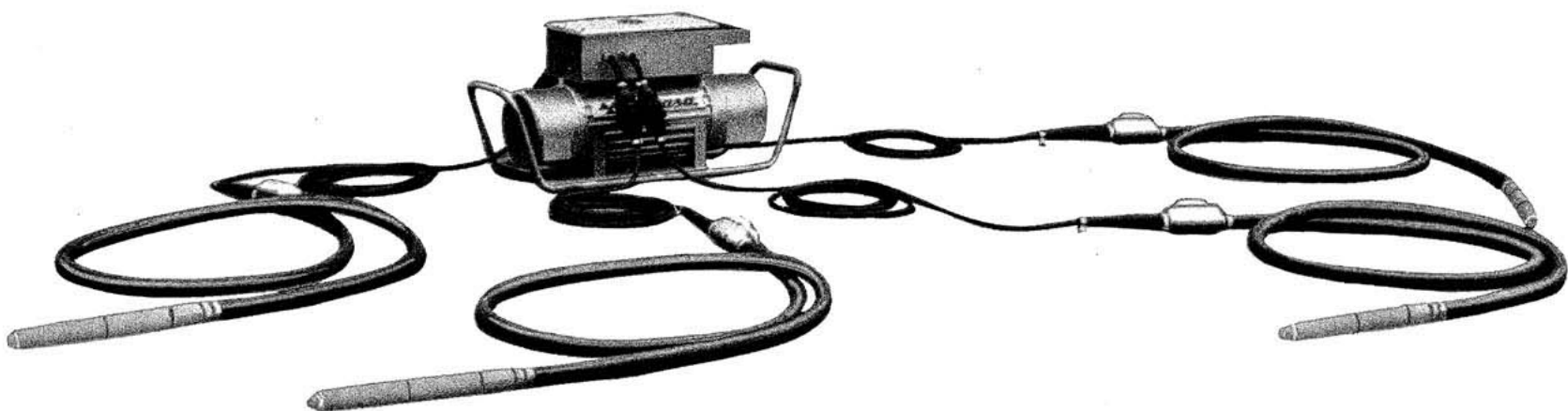
ダブルバイブレーションローラー



● MTR-55/MTR-80/MTR-120
タンピングランマー

MVI—MD型(愛称) インヘッタ モーターインヘッドバイブレーター

第3弾発売開始



三笠が生んだ高周波コンクリート

バイブレーターの最高峰

新型コンバーターと共に登場

この高周波バイブレーターは、昭和38年、弊社が本邦最初の新製品として、開発したものです。当時は小型特殊モーターによるフレキシ式のものが漸く普及しつつあった時代でしたので、未だこの新型バイブレーターを採用していた多くは、チャンタを惠まれません。その後コンクリートの打設工法も進歩し、昭和47年頃には、大手建設業者の間に本機を要望される声が高まって参りました。そこで弊社は当時の製品に改良を加えこれを三笠ニュースに発表して発売致しました。今回はこの二回目の製品に更に検討を加え鋭意研究に研究を重ねた結果このほど最新型の40型、50型、60型の三機種が揃ってお目見えすることになりました。そして更にコンバーター(周波数変換機)もFC4型と6型の二機種を同時に登場させました。これらはいずれも現場での貴重な経験と実績に基づき、細部に工夫をこらした改良が加えられたものです。

先づインヘッターは、振動筒部分を比較的容易にモーター部分と分離することができ、振動筒内部の振子を50Hz用と60Hz用に分けて、どの地域に於いても同じ性能を発揮し、モーターには無理な力の掛らないようになっています。インヘッターのモーターとリード線の結線は、モーターケース上部に三等分に配置されたターミナルで接続されて、組立分解の能率向上に対する配慮がなされ、またスイッチボックスの外形は小さくなり、作業がやり易くなっています。こゝから出ているキャブアイヤコードを保護するコードアモスこぶる丈夫なものになりました。

ゴムホースは極端な曲げにも耐えられるようフレッドを多くしてあります。今回40型のデビューにより、今までのインヘッターに欠けていたバイブレーターのいわゆるレギュラーサイズができたので、インヘッターがコンクリート工事で活躍する分野がより一層増えたことになりました。次にコンバーターについては、始動にスターデルタスイッチを用いて、始動電流を制限しています。このスイッチハンドルを回して保護枠を設け、ハンドルの折損防止に留意してあります。コンバーターのモーター側のコイルにはサーマルスイッチが内蔵され、過負荷および電源側の单相運転に依りコイルが過熱した時にこれが作動し、また場合に依ってはスイッチボックス内の0.5Aヒューズが切れてコイルの焼損事故を防いでいます。

主電源に接続する際にコンバーターの回転方向を点検できるように、見易い位置に小さな窓を設け、透明板でカバーされている等、細い個所に気を配った設計がされています。コンバーター一台で運転できるインヘッターの数は、40型を使った場合FC4型では4本、FC6型では8本まで使うことができます。またインヘッターには10mのキャブアイヤコードが付いていますが、コードを縫いで40mまで延長させることもできますのでこのコンバーターとインヘッターのセットで広汎な現場での作業が可能となります。尚、40型インヘッターを二本使用できる、新しい2KVAのコンバーターを近く完成する予定です。

モーターインヘッドバイブレーターの仕様

型 式	振動筒の寸法	ゴムホースの長さ、径	電 圧	周 波 数	入 力	振 巾	振 動 数	コードの最大使用長さ	概 重 量
40 型	径42φ 長395.5%	38φ 4 m	48V (3相)	200/240Hz	0.66KVA	1.7%	11,000 ~12,500V.P.M.	40m (使用コード断面積 2.0mm ²)	11 kg
50 型	径51φ 長434%	41φ 4 m	48V (3相)	200/240Hz	1.0KVA	1.8%	11,500 ~13,900V.P.M.	40m (使用コード断面積 3.5mm ²)	15.8kg
60 型	径60φ 長482.5%	51φ 4 m	48V (3相)	200/240Hz	1.33KVA	1.8%	10,000 ~12,500V.P.M.	40m (使用コード断面積 3.5mm ²)	20 kg

周波数変換機(コンバーター)の仕様

型 式	一 次 側				二 次 側				様 式	概 重 量	使用しうる振動機の本数
	電 圧	電 流	入 力	周 波 数	電 圧	電 流	出 力	周 波 数			
FC4型	200V (3相)	21 A	7.3KVA	50Hz/60Hz	48V (3相)	46 A	3.8KVA	200Hz/240Hz	可搬式	85.7kg	40型 4本 50型 3本 60型 2本
FC6型	"	29 A	10KVA	50Hz/60Hz	48V (3相)	72 A	6 KVA	200Hz/240Hz	"	116.6kg	40型 8本 50型 6本 60型 5本